

平成29事業年度

決 算 報 告 書

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

国立大学法人鹿屋体育大学

(様式2-1)

## 平成29年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,554	1,553	△1	(注1)
施設整備費補助金	110	107	△3	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	25	25	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	17	17	—	
自己収入	556	562	6	
授業料、入学料及び検定料収入	509	512	2	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	47	51	4	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	75	137	62	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	18	18	(注6)
目的積立金取崩	—	—	—	
計	2,337	2,420	82	
支出				
業務費	2,110	1,958	△152	
教育研究経費	2,110	1,958	△152	(注7)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	127	124	△3	(注8)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	25	23	△2	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	75	140	65	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	2,337	2,246	△92	
収入-支出	—	174	174	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

- (注1) 運営費交付金については、主として年棒制導入促進費を繰り越したため、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として計画変更による減額があり、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料収入の増により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入及び自動販売機手数料収入の増により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。
- (注6) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、当初予算段階では予定していなかった電話交換機設備改修を実施したため、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、主として経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が、152百万円少額となっています。
- (注8) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、交付元への返還により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が65百万円多額となっています。